



### 新年のごあいさつ

あけましておめでとう、ございます。市民の皆さまには、平素より市政に対する温かいご理解とご協力を賜り、心からお礼申しあげます。昨年9月には、5年ぶりに政権が交代し、美しい国づくりを目指す安倍内閣が誕生いたしました。本市におきましても、日本一の生産量を誇るカキもノロウイルスの風評被害による販売不振、公共工事等の削減による雇用の減少など、本市全体の景気が沈滞し、本年も引き続き行財政改革を強力に進めていかなければならない状況が続いています。

市議会としても、今後も市民の皆さま方との対話を重ね、意見を聞き、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。本年もどうかご支援ご協力をお願いいたします。

江田島市議会  
議長 田中 達美

## ■条例の制定・一部改正

### ◎副市長の定数を定める条例

可決 賛成21 反対4

地方自治法の一部を改正する法律が平成19年4月から施行されることに伴い、副市長2人の定数を定める条例を制定した。

### ◎市表彰条例等

可決 全員賛成

副市長の定数を定める

条例の一部改正に伴い改正した。

### ◎市税条例

可決 全員賛成

前納報奨金制度の廃止

### ◎市民サービスセンター設置条例

可決 全員賛成

市民の利便性の向上を図るため、㈱イズミゆめタウン江田島店内に市民

### ◎市ピオトップ設置及び管理条例

可決 全員賛成

ピオトップの多様な生態系を維持し貴重な動物の捕獲及び殺傷を防止するため改正した。

### ◎市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例

可決 全員賛成

可決 全員賛成

サービスセンターを設置することに伴い、必要な事項を定めた。

### ◎市老人集会所等設置及び管理条例

可決 全員賛成

旧大須小学校の校舎の一部を老人集会所として活用するため改正した。

## 市庁舎建設検討等 特別委員会設置

## 議員定数6人削減

平成18年第6回定例会は、12月12日に招集され、15日間の会期で開かれました。初日の12日には、市長の市政報告及び議長報告があった後、2日間にわたって13人の議員が市政全般について一般質問を行いました。13・14日は、人事案件、平成17年度公共下水道事業（能美地区）ほか3企業会計決算の認定、広島県後期高齢者医療広域連合の設立、副市長の定数を定める条例、市民サービスセンター設置条例の制定や条例の一部改正案及び18年度補正予算案など21議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決しました。

続いて、平成17年度一般会計と国民健康保険ほか8特別会計の決算認定議案が一括上程され、本件は決算審査特別委員会を設置し、これに付託することに決定しました。

25日には、決算審査特別委員会に付託した決算を認定した後、議員発議による意見書案2件、市議会の議員の定数条例の一部改正等5件を可決し閉会しました。

## 教育委員の同意

### 山口さんを選任

山口由美子さん（沖美町三吉）を新たに教育委員会委員とする同意案が提出され、全会一致で同意しました。任期は4年。

## 人権擁護委員候補者の推薦

### 宇都宮さん・大倉さんを適任と答申

人権擁護委員候補者に、宇都宮猛さん（大柿町大君）と大倉千代太郎さん（大柿町飛渡瀬）を推薦する諮問に対して適任であると答申しました。

職務は、市民の基本的な人権が侵犯されることのないよう監視し、適切な救済の処置を講じるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めるものです。任期は3年。

## 可決した主な議案等

### ■広島県後期高齢者医療広域連合の設立について

可決 賛成23 反対2

町が後期高齢者医療に関する事務の一部を広域にわたり総合的かつ計画的に処理する、広島県後期高齢者医療広域連合を設立するものです。



▲統合予定の切串中学校

### ◎市立学校設置条例

可決 賛成23 反対1

平成21年4月から江田島中学校と切串中学校を統合して江田島中学校とし、切串中学校を廃校することに伴い改正。

## 可決 平成18年度歳入歳出補正予算

会計名	補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な理由	
一般会計(第6号)	7,000万円	156億1,384万円	農業集落排水事業会計繰出金・生活交通(バス)路線維持事業費補助金及び単県・単市事業の追加工事費等の増額、公共下水道事業繰出金等の減額	
特別会計	国民健康保険(第2号)	6,153万6千円	41億2,013万6千円	退職被保険者等療養給付費及び同高額の療養費の増額
	老人保健(第1号)	130万3千円	55億6,870万3千円	後期高齢者医療広域連合負担金
	介護保険(第2号)	6,446万6千円	30億7,052万2千円	居宅介護サービス給付費等の増額、施設介護サービス給付費等の減額
	介護サービス事業	14万3千円	4,094万3千円	居宅予防支援事業費の増額
	住宅新築資金等貸付事業(第1号)	624万7千円	8,304万7千円	個人貸付金の繰上償還に伴う起債の繰上償還
	港湾管理(第1号)	814千円	4,760万8千円	小用港管理事業の増額
	公共下水道事業(第2号)	0千円	12億2,380万4千円	歳入の財源変更(補正前の金額12億2,380万4千円)
農業集落排水事業(第2号)	0千円	6億7,660万円	歳入の財源変更(補正前の金額6億7,660万円)	

会計名	補正増減(△)額	補正後の額	補正の主な理由	
企業会計	交通船事業(第1号)	収益的収入 △5,000万円 収益的支出 2,268万4千円	6億7,036万1千円 8億1,344万2千円	乗船客数の減少による運賃収入減、燃料費の高騰による増額等
	水道事業(第3号)	資本的支出 525万円	6億4,277万8千円	配水管等漏水対策費の増額